

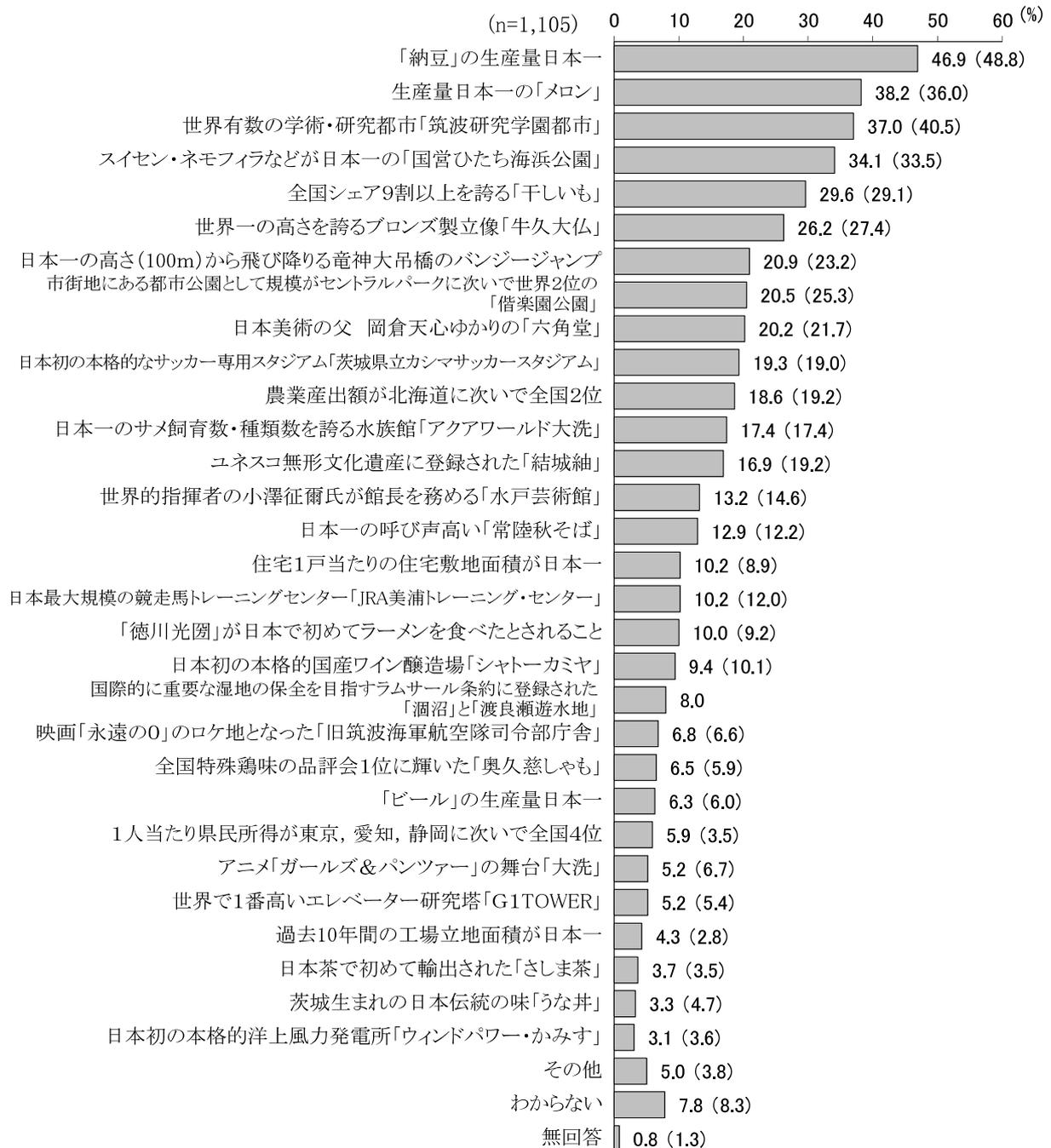
II 茨城県民の郷土愛

1. 茨城県の魅力

(1) 知人に自慢したいもの（自慢したいこと）

－ 「納豆」の生産量日本一が4割台半ば－

問3 茨城県には、日本や世界で有数のものがあります。次の中から、あなたが知人に自慢したいもの（自慢したいこと）として、あてはまるものをすべて選んでください。



※()内の数値は、平成26年の調査結果

※「国際的に重要な湿地の保全を目指すラムサール条約に登録された「潤沼」と「渡良瀬遊水地」は、平成26年では選択肢になし。

※「1人当たり県民所得が東京、愛知、静岡に次いで全国4位」は、平成26年では「県民所得が東京、静岡、愛知、滋賀、富山に次いで全国6位」。

知人に自慢したいもの（自慢したいこと）としては、「納豆」の生産量日本一（46.9%）が4割台半ばと最も高く、次いで、「生産量日本一の「メロン」」（38.2%）、「世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」」（37.0%）、「スイセン・ネモフィラなどが日本一の「国営ひたち海浜公園」」（34.1%）が3割台で続いている。

－「市街地にある都市公園として規模がセントラルパークに次いで世界2位の「偕楽園公園」」が約5ポイント減少－

前回調査（昨年）と比べると、「市街地にある都市公園として規模がセントラルパークに次いで世界2位の「偕楽園公園」」が約5ポイント減少している。

－県北と県央で「スイセン・ネモフィラなどが日本一の「国営ひたち海浜公園」」が4割台半ば－
地域別でみると、「スイセン・ネモフィラなどが日本一の「国営ひたち海浜公園」」は、県北（44.2%）と県央（45.0%）で4割台半ばと高くなっている。

－鹿行で「日本初の本格的なサッカー専用スタジアム「茨城県立カシマサッカースタジアム」」が4割台半ば－

地域別でみると、「日本初の本格的なサッカー専用スタジアム「茨城県立カシマサッカースタジアム」」は、鹿行（46.6%）で4割台半ばと最も高くなっている。

－県南で「世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」」が約5割－

地域別でみると、「世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」」は、県南（49.9%）で約5割と最も高くなっている。

－女性で「スイセン・ネモフィラなどが日本一の「国営ひたち海浜公園」」が男性よりも約17ポイント、「全国シェア9割以上を誇る「干しいも」」が男性よりも約11ポイント高い－

性別でみると、「スイセン・ネモフィラなどが日本一の「国営ひたち海浜公園」」は、女性（41.8%）が男性（25.0%）よりも約17ポイント、「全国シェア9割以上を誇る「干しいも」」は、女性（34.5%）が男性（23.8%）よりも約11ポイント高くなっている。

－女性の20代で「スイセン・ネモフィラなどが日本一の「国営ひたち海浜公園」」が5割超－

性・年齢別でみると、「スイセン・ネモフィラなどが日本一の「国営ひたち海浜公園」」は、女性の20代（52.8%）で5割を超えて最も高く、次いで女性の40代（46.9%）と50代（45.7%）で4割台半ばと高くなっている。

－女性の50代と60代で「生産量日本一の「メロン」」が約5割－

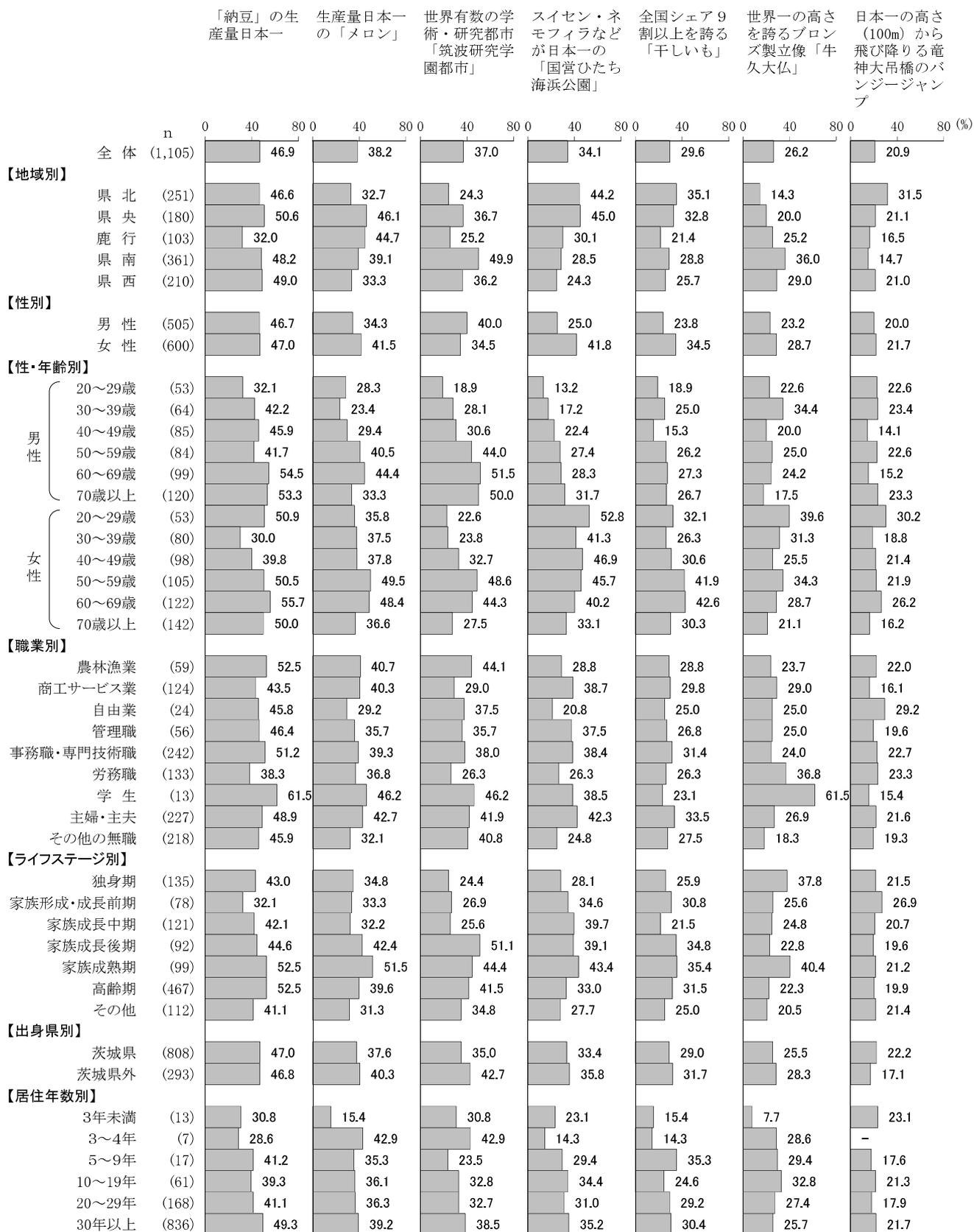
性・年齢別でみると、「生産量日本一の「メロン」」は、女性の50代（49.5%）と60代（48.4%）で約5割と高くなっている。また、「全国シェア9割以上を誇る「干しいも」」も、女性の50代（41.9%）と60代（42.6%）で4割を超えて高くなっている。

－男性の60代と70歳以上で「世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」」が5割超－

性・年齢別でみると、「世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」」は、男性の60代（51.5%）と70歳以上（50.0%）で5割を超え、女性の50代（48.6%）で約5割と高くなっている。

図Ⅱ 3-1 知人に自慢したいもの（自慢したいこと）

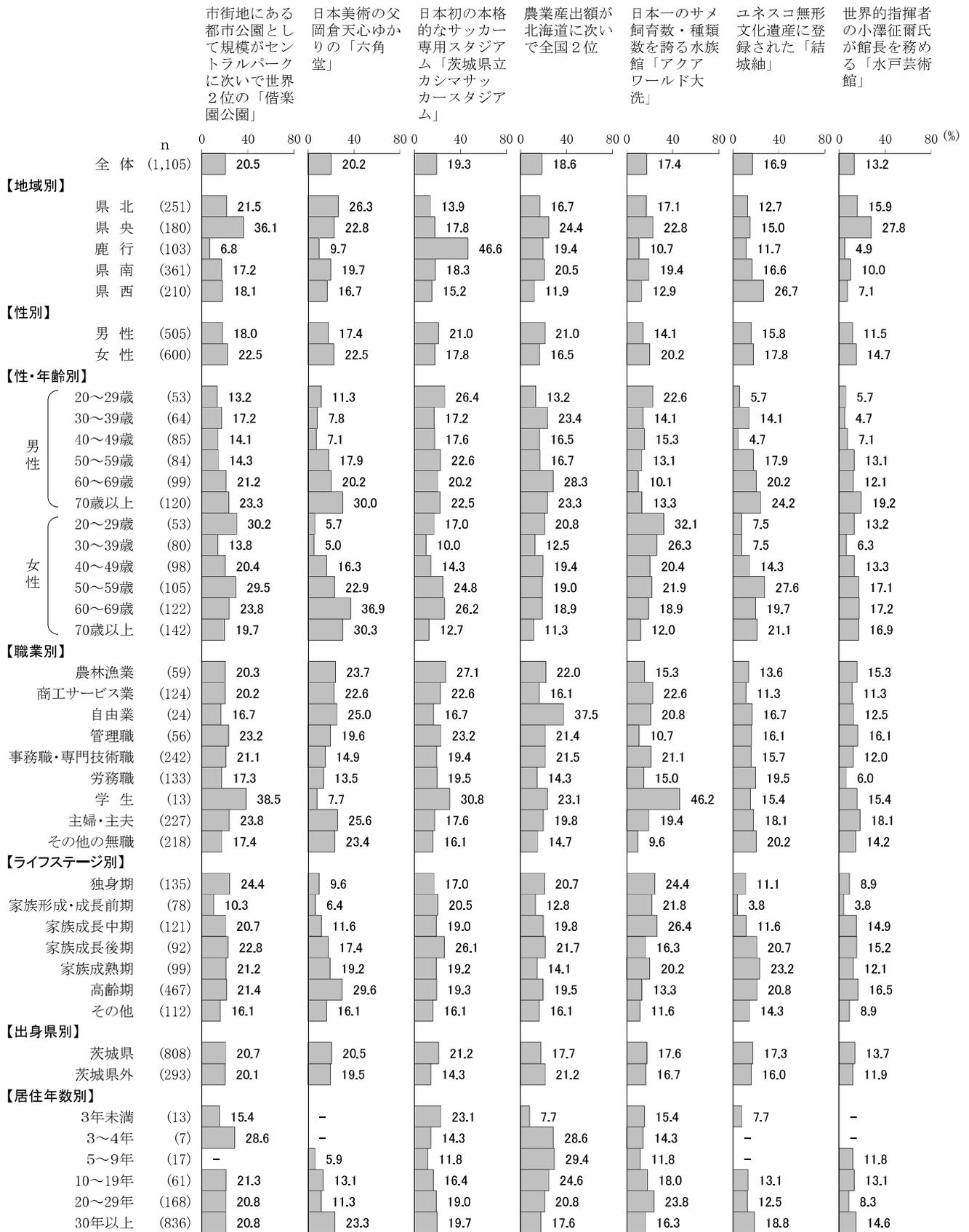
（地域別、性別、性・年齢別、職業別、ライフステージ別、出身県別、居住年数別—上位14項目）



（注）回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

〈続き〉 図Ⅱ 3-1 知人に自慢したいもの（自慢したいこと）

（地域別、性別、性・年齢別、職業別、ライフステージ別、出身県別、居住年数別—上位14項目）



（注）回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

表Ⅱ 3-1 知人に自慢したいもの（自慢したいこと）
（前回調査との比較－上位5項目）

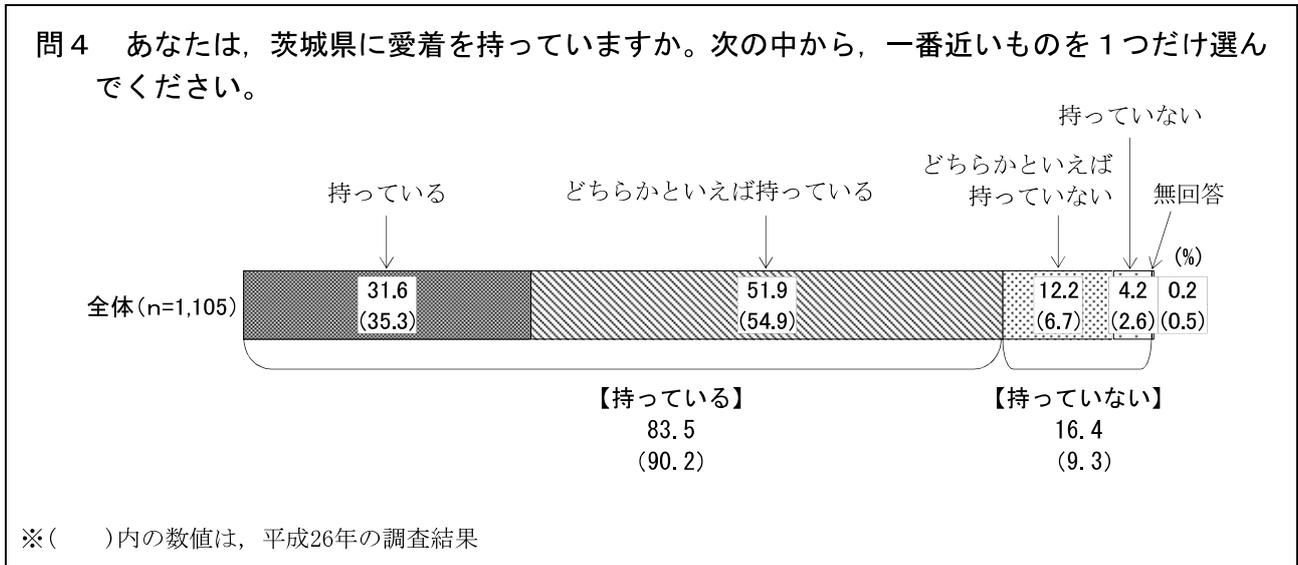
（単位：％）

	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査（H27） n=1,105	「納豆」の生産量 日本一 46.9	生産量日本一の 「メロン」 38.2	世界有数の学術・ 研究都市「筑波研 究学園都市」 37.0	スイセン・ネモ フィラなどが日本 一の「国営ひたち 海浜公園」 34.1	全国シェア9割以 上を誇る「干しい も」 29.6
前回調査（H26） n=1,112	「納豆」の生産量 日本一 48.8	世界有数の学術・ 研究都市「筑波研 究学園都市」 40.5	メロンの生産量日 本一 36.0	スイセン・ネモ フィラなどが日本 一の「国営ひたち 海浜公園」 33.5	全国シェア9割以 上を誇る「干しい も」 29.1

2. 茨城県に対する愛着

(1) 茨城県に対する愛着の有無

－【持っている】が8割台半ば－



茨城県に対して、愛着を「持っている」(31.6%)と「どちらかといえば持っている」(51.9%)を合わせた【持っている】(83.5%)が8割台半ばとなっている。一方、「どちらかといえば持っていない」(12.2%)と「持っていない」(4.2%)を合わせた【持っていない】(16.4%)は1割台半ばとなっている。

－【持っている】が約7ポイント減少－

前回調査(昨年)と比べると、【持っている】は約7ポイント減少している。一方、【持っていない】が約7ポイント増加している。

－県北で【持っている】が約9割－

地域別でみると、【持っている】は、県北(89.3%)で約9割と最も高くなっている。

－男女ともに70歳以上で【持っている】が約9割－

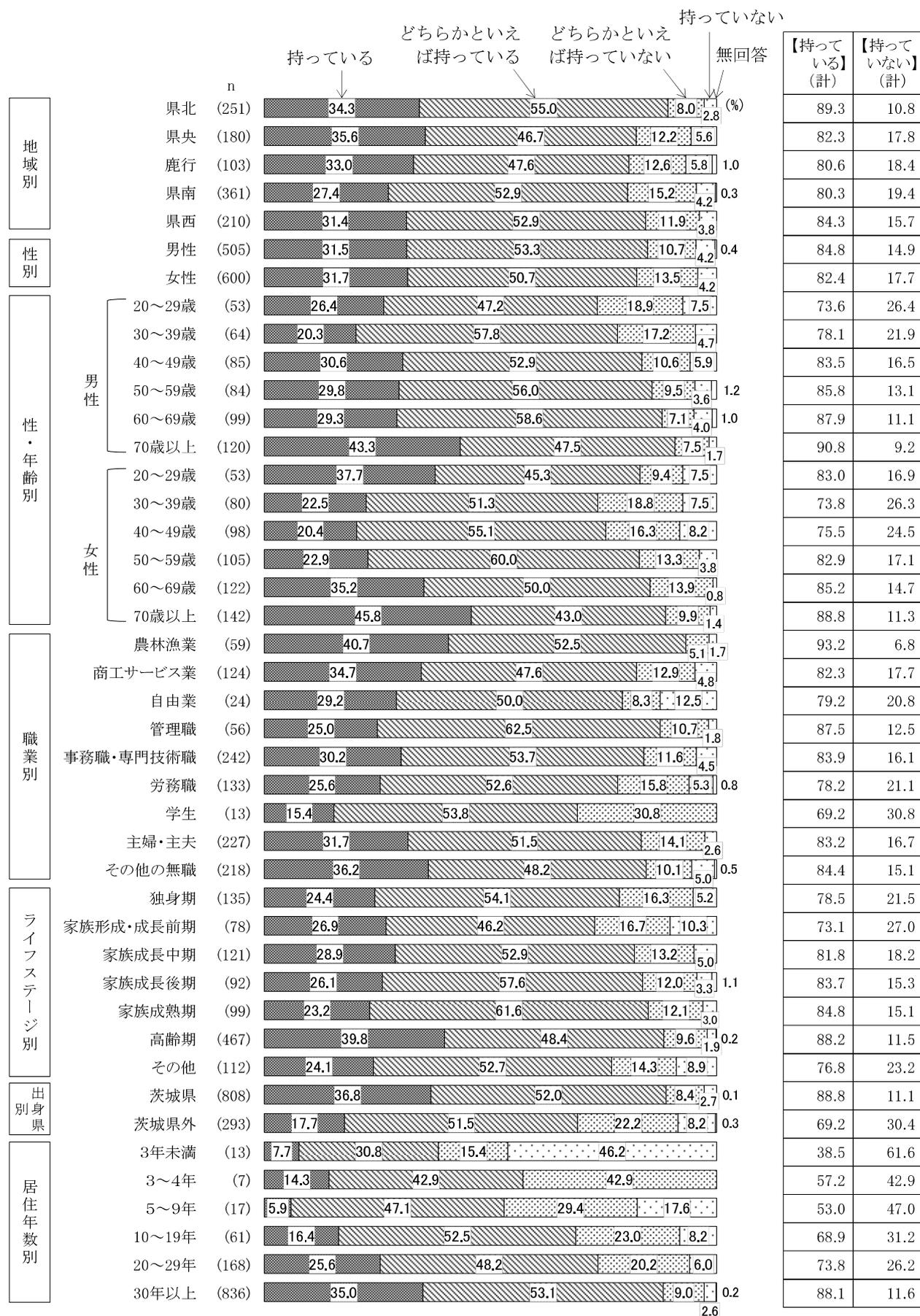
性・年齢別でみると、【持っている】は、男性の70歳以上(90.8%)と女性の70歳以上(88.8%)で約9割と高くなっている。

－茨城県出身者は【持っている】が茨城県外出身者よりも約20ポイント高い－

出身県別でみると、【持っている】は、茨城県出身者(88.8%)が茨城県外出身者(69.2%)よりも約20ポイント高くなっている。

図Ⅱ 4-1 茨城県に対する愛着の有無

(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 出身県別, 居住年数別)



(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

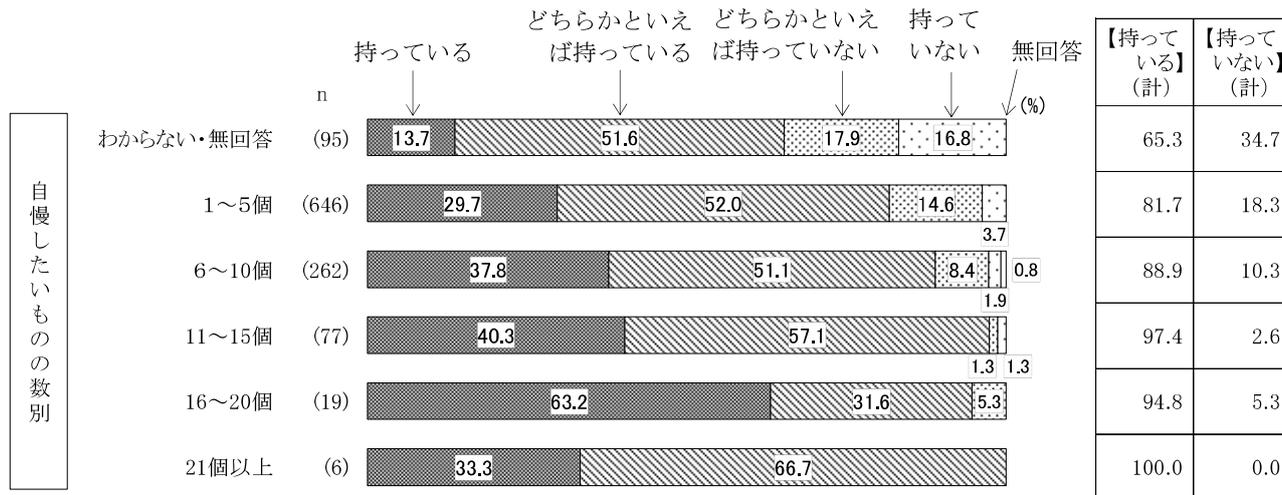
<愛着を「持っている」と問3の選択数との関係>

－愛着を「持っている」は、「自慢したいもの」の数に応じて、概ね増加している－

○問3「知人に自慢したいもの」の数別の分析

愛着を「持っている」は、自慢したいものの数が6個～10個（37.8%）で県全体（31.6%）を超えて約4割、16個～20個（63.2%）で6割台半ばと、概ね数に応じて増加している。

図Ⅱ 4-2 茨城県に対する愛着の有無
(問3 設問間クロス集計)



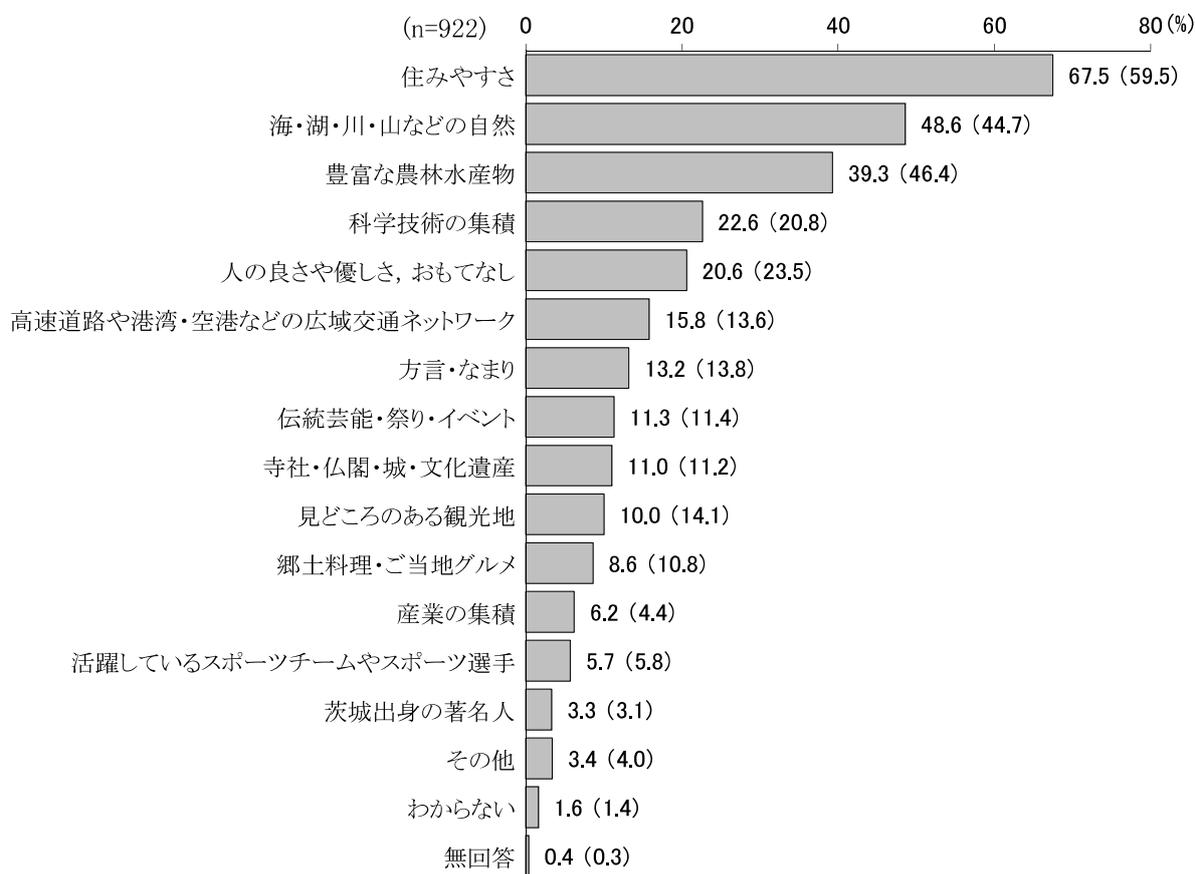
(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

(2) 茨城県に愛着を感じるどころ

－「住みやすさ」が約7割－

(問4で「1 持っている」, 「2 どちらかといえば持っている」と回答した方のみ)

問4-1 あなたは, 茨城県のどのようなところに愛着を感じますか。次の中から, あてはまるものをすべて選んでください。



※()内の数値は, 平成26年の調査結果

茨城県に愛着を【持っている】と回答した方に, 愛着を感じるどころを聞いたところ, 「住みやすさ」(67.5%)が約7割と最も高く, 次いで, 「海・湖・川・山などの自然」(48.6%)が4割台で続いている。

－「住みやすさ」が8ポイント増加－

前回調査(昨年)と比べると, 「住みやすさ」が8ポイント増加している。一方, 「豊富な農林水産物」が約7ポイント減少している。

－県北で「住みやすさ」が7割台半ば－

地域別でみると, 「住みやすさ」は, 県北(76.3%)で7割台半ばと最も高くなっている。

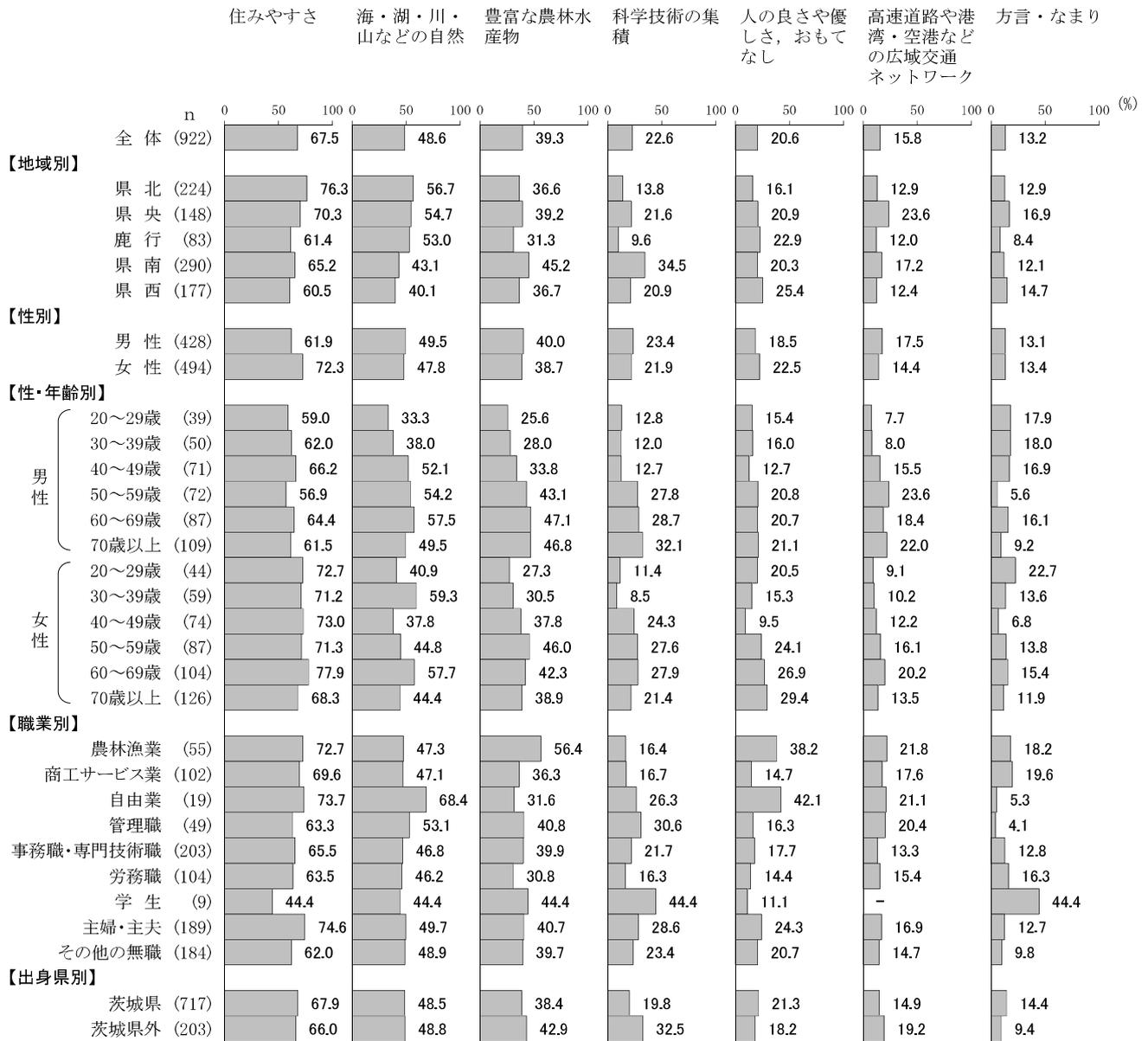
－女性で「住みやすさ」が男性よりも約10ポイント高い－

性別でみると, 「住みやすさ」は, 女性(72.3%)が男性(61.9%)よりも約10ポイント高くなっている。

－茨城県外出身者は「科学技術の集積」が茨城県出身者よりも約13ポイント高い－

出身県別でみると, 「科学技術の集積」は, 茨城県外出身者(32.5%)が茨城県出身者(19.8%)よりも約13ポイント高くなっている。

図Ⅱ 4-1-1 茨城県に愛着を感じるどころ
(地域別、性別、性・年齢別、職業別、出身県別—上位7項目)



(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

表Ⅱ 4-1-1 茨城県に愛着を感じるどころ
(前回調査との比較—上位5項目)

(単位：%)

	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査 (H27) n=922	住みやすさ 67.5	海・湖・川・山などの自然 48.6	豊富な農林水産物 39.3	科学技術の集積 22.6	人の良さや優しさ、おもてなし 20.6
前回調査 (H26) n=1,002	住みやすさ 59.5	豊富な農林水産物 46.4	海・湖・川・山などの自然 44.7	人の良さや優しさ、おもてなし 23.5	科学技術の集積 20.8

(3) 茨城県に愛着を持たない理由

－「茨城県に魅力を感じない又は魅力をあまり感じない」が4割台半ば－

(問4で「3 どちらかといえば持っていない」, 「4 持っていない」と回答した方のみ)
問4-2 愛着を持っていない理由について, 次の中から, 一番近いものを1つだけ選んでください。



茨城県に愛着を【持っていない】と回答した方に, 持っていない理由を聞いたところ, 「茨城県に魅力を感じない又は魅力をあまり感じない」(45.3%)が4割台半ばと最も高く, 次いで, 「茨城県に関心がない」(25.4%), 「茨城県のことをよく知らない」(22.7%)が2割台となっている。

－県央で「茨城県に魅力を感じない又は魅力をあまり感じない」が5割台半ば－

地域別でみると, 「茨城県に魅力を感じない又は魅力をあまり感じない」は, 県央(56.3%)で5割台半ばと最も高くなっている。

－男性で「茨城県に関心がない」が女性よりも約11ポイント高い－

性別でみると, 「茨城県に関心がない」は, 男性(32.0%)が女性(20.8%)よりも約11ポイント高くなっている。一方, 「茨城県に魅力を感じない又は魅力をあまり感じない」は, 女性(48.1%)が男性(41.3%)よりも約7ポイント高くなっている。

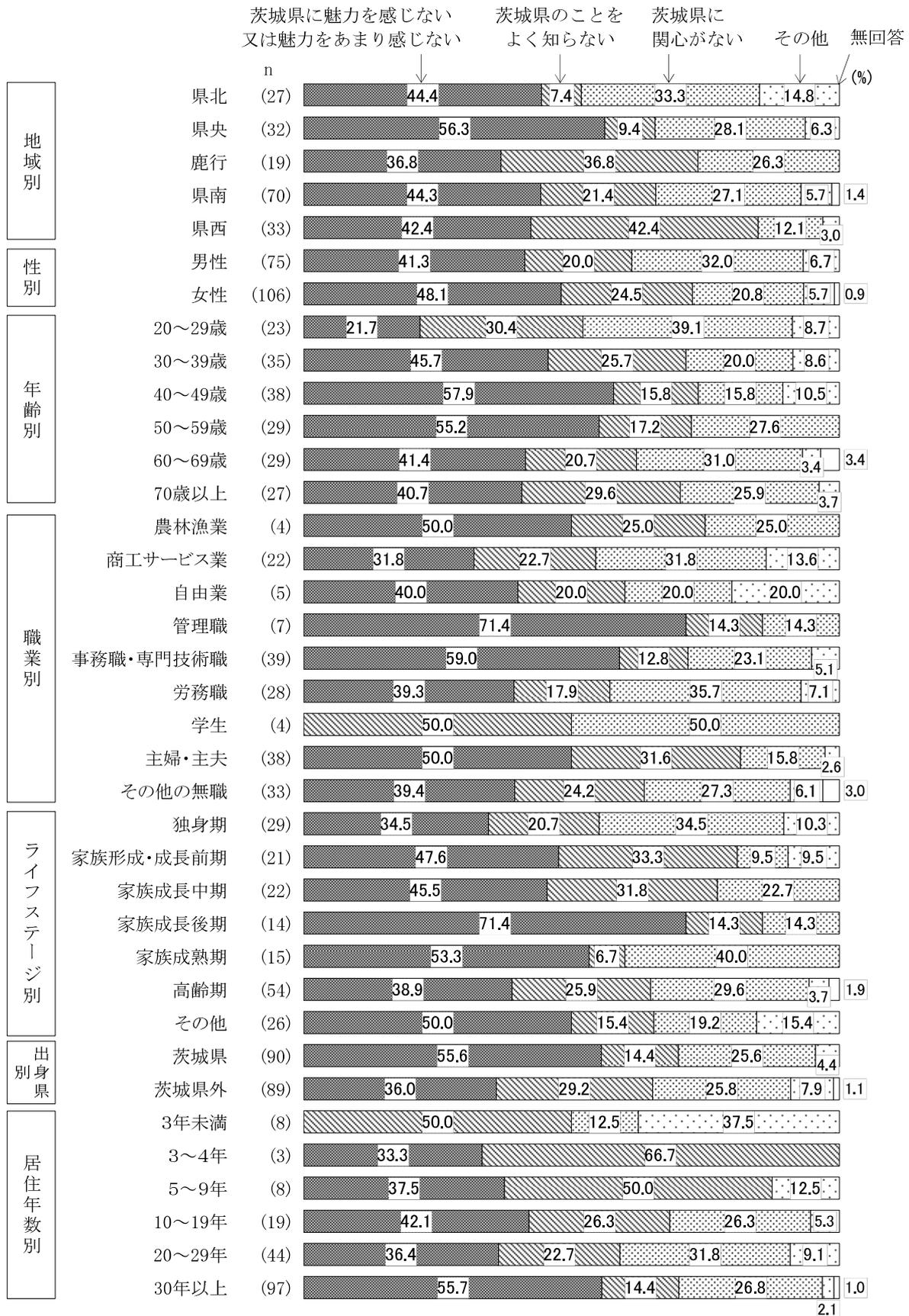
－40代で「茨城県に魅力を感じない又は魅力をあまり感じない」が約6割－

年齢別でみると, 「茨城県に魅力を感じない又は魅力をあまり感じない」は, 40代(57.9%)で約6割と最も高くなっている。

－茨城県外出身者は「茨城県のことをよく知らない」が茨城県出身者よりも約15ポイント高い－

出身県別でみると, 「茨城県のことをよく知らない」は, 茨城県外出身者(29.2%)が茨城県出身者(14.4%)よりも約15ポイント高くなっている。一方, 「茨城県に魅力を感じない又は魅力をあまり感じない」は, 茨城県出身者(55.6%)が茨城県外出身者(36.0%)よりも約20ポイント高くなっている。

図Ⅱ 4-2-1 茨城県に愛着を持たない理由
(地域別, 性別, 年齢別, 職業別, ライフステージ別, 出身県別, 居住年数別)

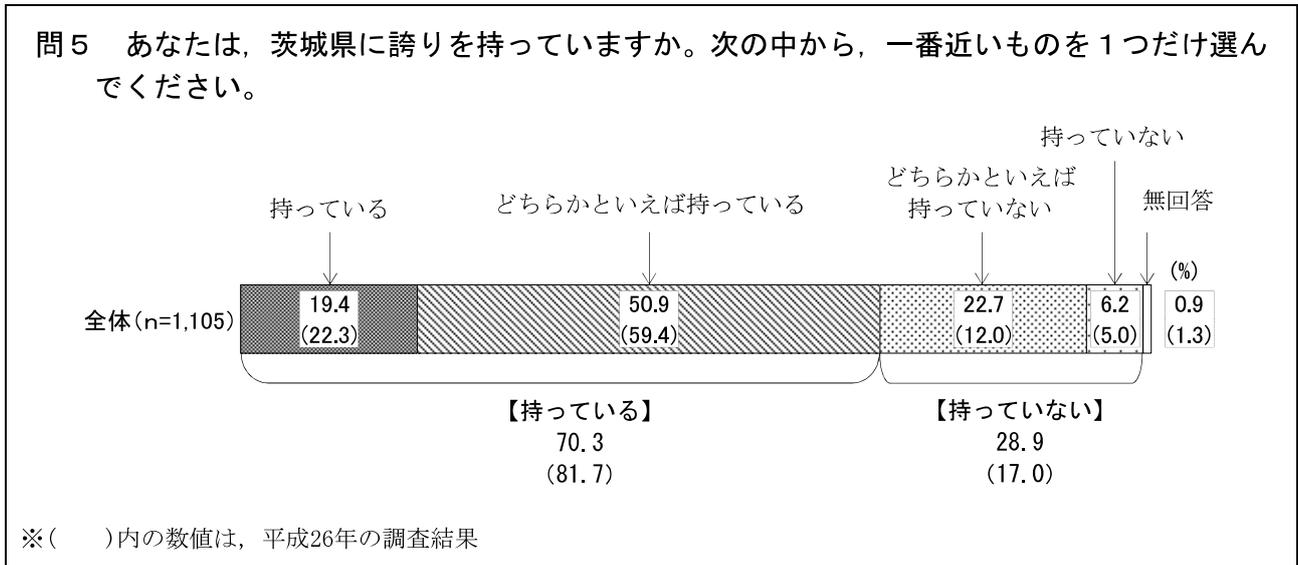


(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

3. 茨城県に対する誇り

(1) 茨城県に対する誇りの有無

－【持っている】が約7割－



茨城県に対して、誇りを「持っている」(19.4%)と「どちらかといえば持っている」(50.9%)を合わせた【持っている】(70.3%)が約7割となっている。一方、「どちらかといえば持っていない」(22.7%)と「持っていない」(6.2%)を合わせた【持っていない】(28.9%)は約3割となっている。

－【持っている】が約11ポイント減少－

前回調査(昨年)と比べると、【持っている】は約11ポイント減少している。一方、【持っていない】が約12ポイント増加している。

－県北と県央で【持っている】が7割台半ば－

地域別でみると、【持っている】は、県北(75.3%)と県央(74.4%)で7割台半ばと高くなっている。

－男女ともに70歳以上で【持っている】が8割台前半－

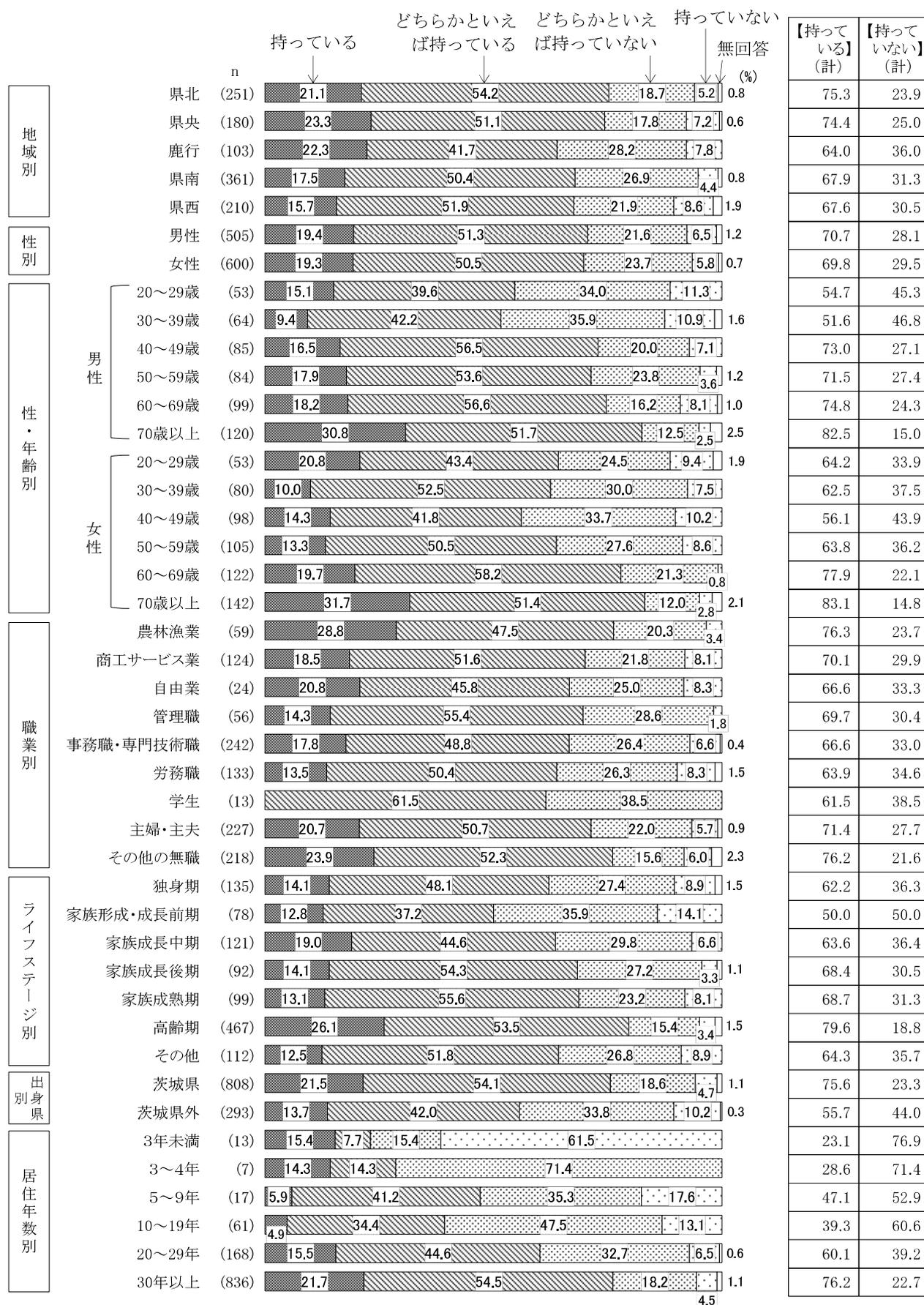
性・年齢別でみると、【持っている】は、男性の70歳以上(82.5%)と女性の70歳以上(83.1%)で8割台前半と高くなっている。

－茨城県出身者は【持っている】が茨城県外出身者よりも約20ポイント高い－

出身県別でみると、【持っている】は、茨城県出身者(75.6%)が茨城県外出身者(55.7%)よりも約20ポイント高くなっている。

図Ⅱ 5-1 茨城県に対する誇りの有無

(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 出身県別, 居住年数別)



(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

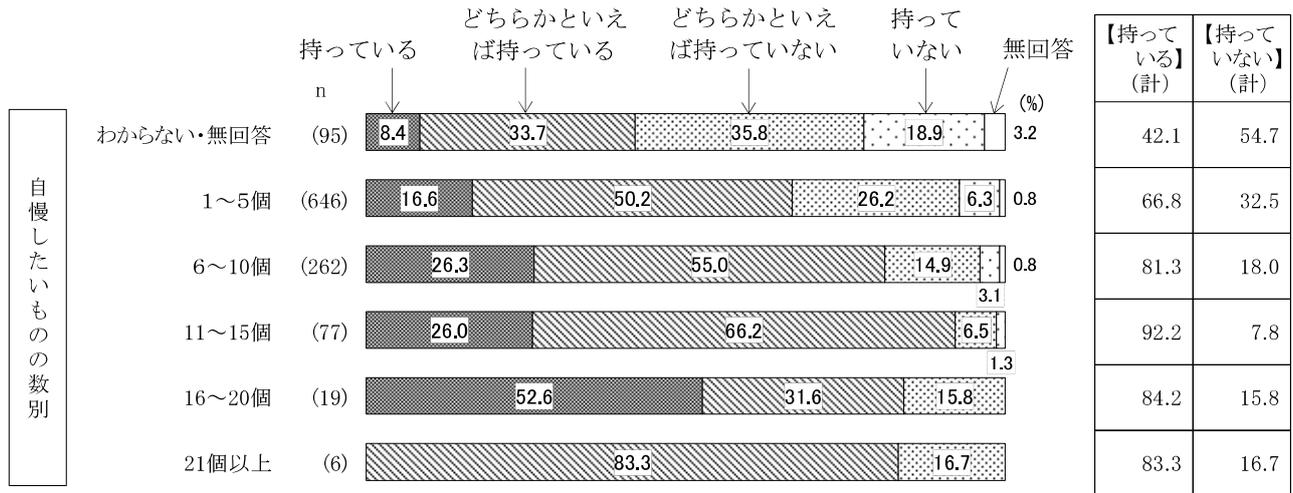
<誇りを「持っている」と問3の選択数との関係>

—誇りを「持っている」は、「自慢したいもの」の数に応じて、概ね増加している—

○問3「知人に自慢したいもの」の数別の分析

誇りを「持っている」は、自慢したいものの数が6個～10個（26.3%）で県全体（19.4%）を超え、16個～20個（52.6%）で5割を超えて高くなっている。

図Ⅱ 5-2 茨城県に対する誇りの有無
(問3 設問間クロス集計)

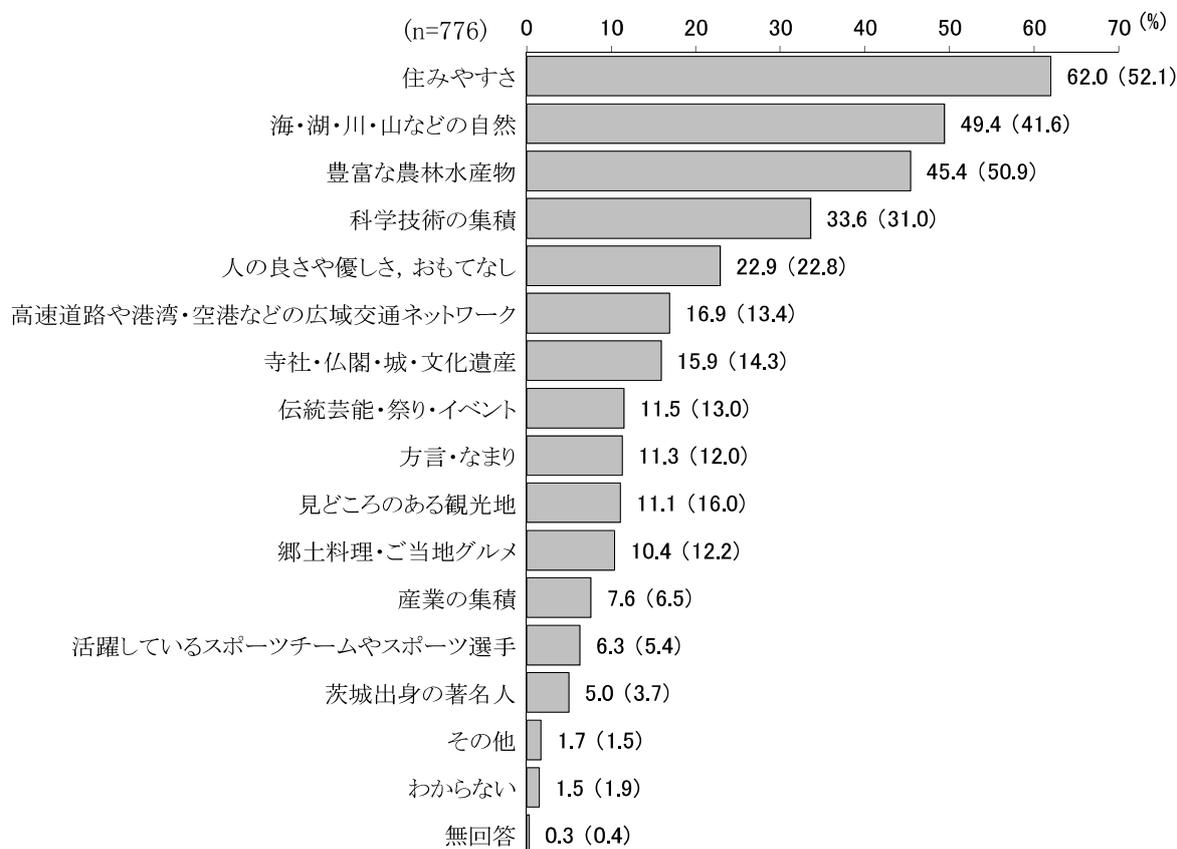


(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

(2) 茨城県に誇りを感じるどころ

－「住みやすさ」が6割超－

(問5で「1 持っている」, 「2 どちらかといえば持っている」と回答した方のみ)
問5-1 あなたは、茨城県のどのようなところに誇りを感じますか。次の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



※()内の数値は、平成26年の調査結果

茨城県に誇りを【持っている】と回答した方に、誇りを感じるどころを聞いたところ、「住みやすさ」(62.0%)が6割を超えて最も高く、次いで、「海・湖・川・山などの自然」(49.4%)と「豊富な農林水産物」(45.4%)が4割台で続いている。

－「住みやすさ」が約10ポイント増加－

前回調査(昨年)と比べると、「住みやすさ」が約10ポイント、「海・湖・川・山などの自然」が約8ポイント増加している。

－県北で「海・湖・川・山などの自然」が約6割－

地域別でみると、「海・湖・川・山などの自然」は、県北(58.2%)で約6割と最も高くなっている。

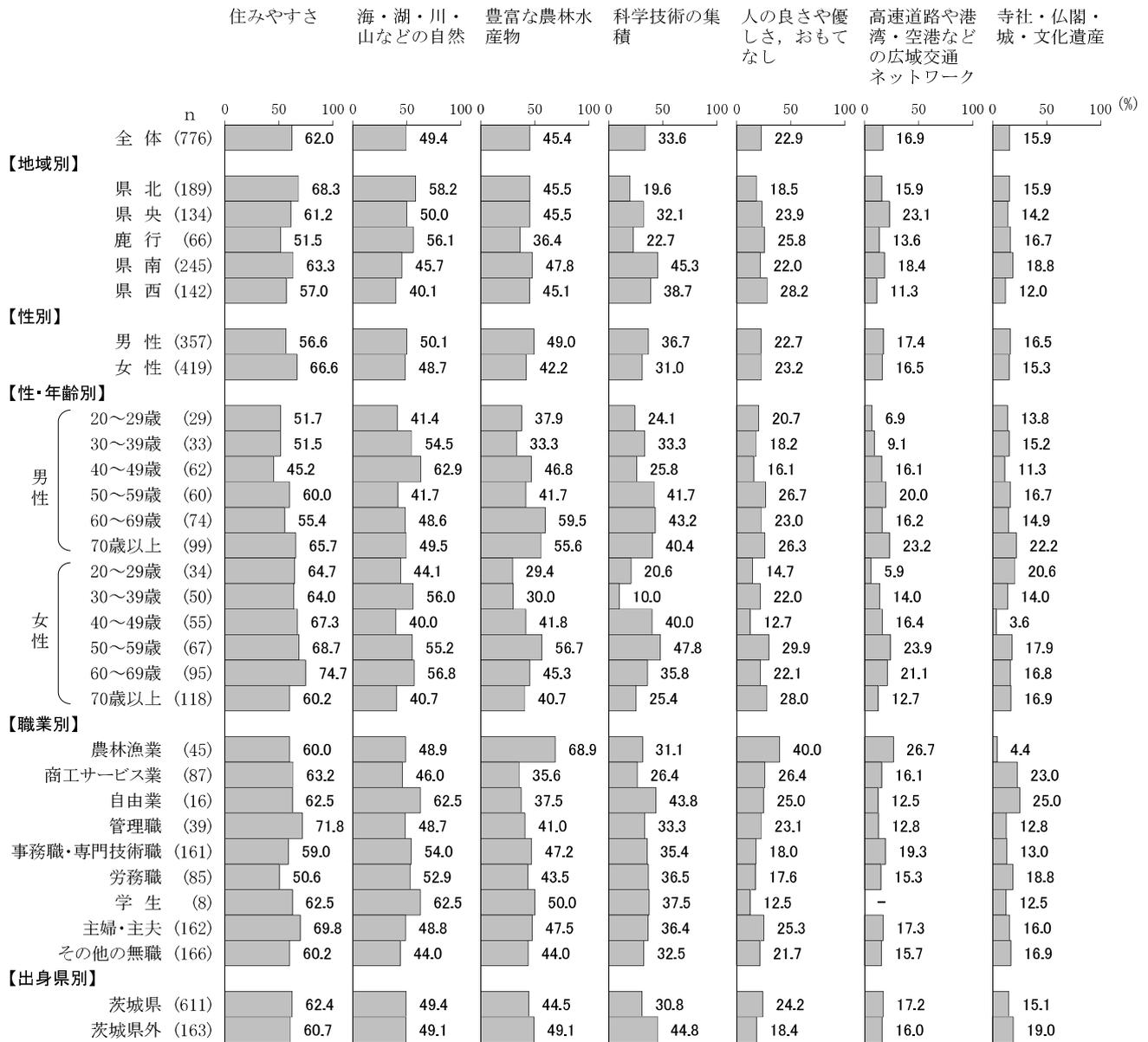
－女性で「住みやすさ」が男性よりも10ポイント高い－

性別でみると、「住みやすさ」は、女性(66.6%)が男性(56.6%)よりも10ポイント高くなっている。

－茨城県外出身者は「科学技術の集積」が茨城県出身者よりも14ポイント高い－

出身県別でみると、「科学技術の集積」は、茨城県外出身者(44.8%)が茨城県出身者(30.8%)よりも14ポイント高くなっている。

図Ⅱ 5-1-1 茨城県に誇りを感じるところ
(地域別、性別、性・年齢別、職業別、出身県別—上位7項目)



(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

表Ⅱ 5-1-1 茨城県に誇りを感じるところ
(前回調査との比較—上位5項目)

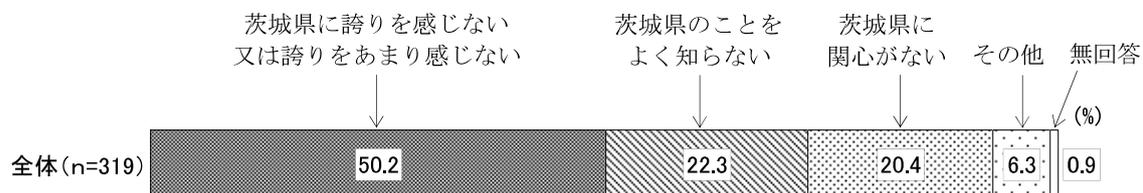
(単位：%)

	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査 (H27)	住みやすさ	海・湖・川・山などの自然	豊富な農林水産物	科学技術の集積	人の良さや優しさ、おもてなし
n=776	62.0	49.4	45.4	33.6	22.9
前回調査 (H26)	住みやすさ	豊富な農林水産物	海・湖・川・山などの自然	科学技術の集積	人の良さや優しさ、おもてなし
n=909	52.1	50.9	41.6	31.0	22.8

(3) 茨城県に誇りを持たない理由

－「茨城県に誇りを感じない又は誇りをあまり感じない」が約5割－

(問5で「3 どちらかといえば持っていない」、「4 持っていない」と回答した方のみ)
問5－2 誇りを持っていない理由について、次の中から、一番近いものを1つだけ選んでください。



茨城県に誇りを【持っていない】と回答した方に、持っていない理由を聞いたところ、「茨城県に誇りを感じない又は誇りをあまり感じない」(50.2%)が約5割と最も高く、次いで、「茨城県のことをよく知らない」(22.3%)、「茨城県に関心がない」(20.4%)が2割台となっている。

－県西で「茨城県のことをよく知らない」が約4割－

地域別でみると、「茨城県のことをよく知らない」は、県西(40.6%)で約4割と最も高くなっている。

－女性で「茨城県に誇りを感じない又は誇りをあまり感じない」が男性よりも約5ポイント高い－

性別でみると、「茨城県に誇りを感じない又は誇りをあまり感じない」は、女性(52.5%)が男性(47.2%)よりも約5ポイント高くなっている。

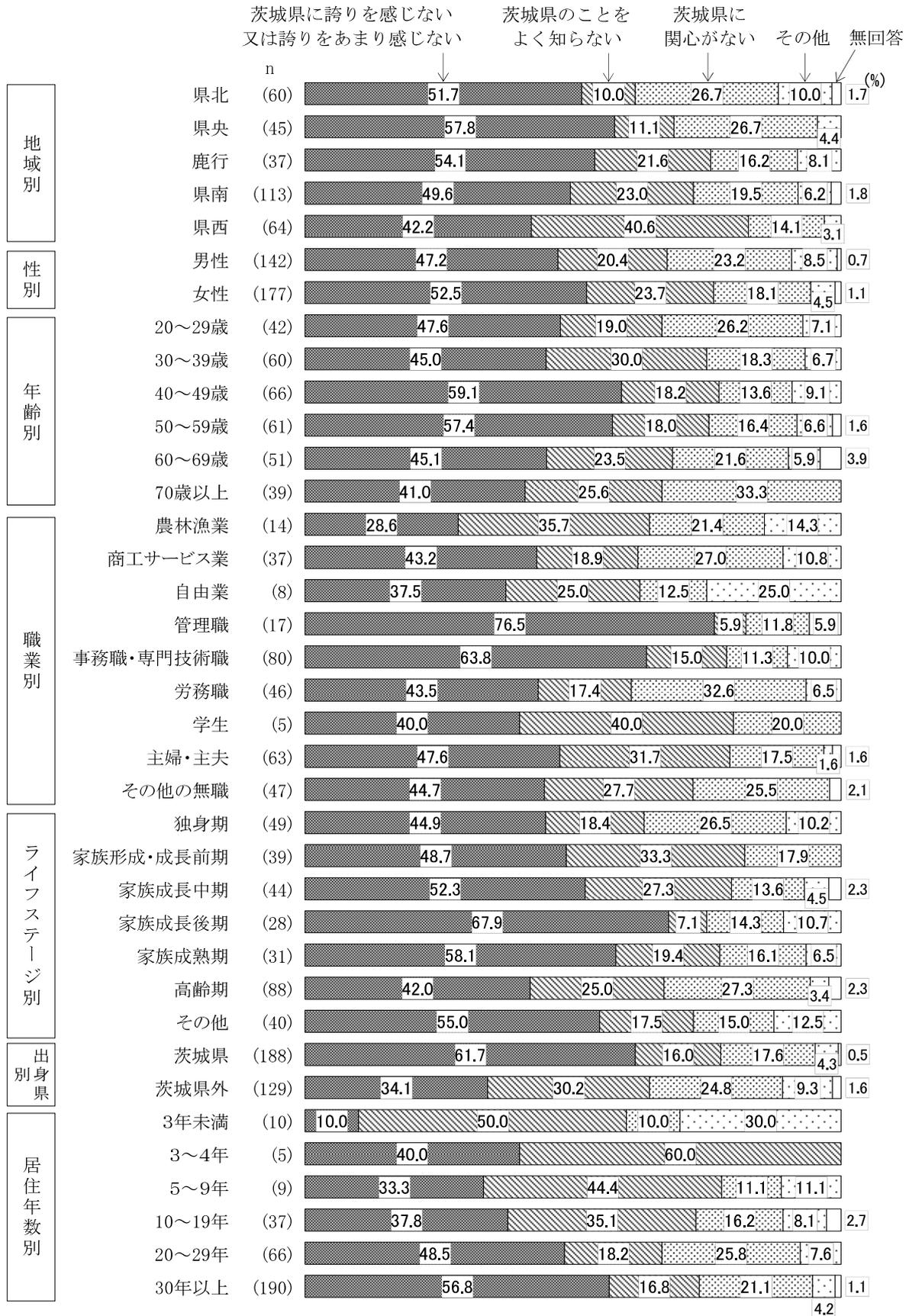
－40代と50代で「茨城県に誇りを感じない又は誇りをあまり感じない」が約6割－

年齢別でみると、「茨城県に誇りを感じない又は誇りをあまり感じない」は、40代(59.1%)と50代(57.4%)で約6割と高くなっている。

－茨城県外出身者は「茨城県のことをよく知らない」が茨城県出身者よりも約14ポイント高い－

出身県別でみると、「茨城県のことをよく知らない」は、茨城県外出身者(30.2%)が茨城県出身者(16.0%)よりも約14ポイント高くなっている。一方、「茨城県に誇りを感じない又は誇りをあまり感じない」は、茨城県出身者(61.7%)が茨城県外出身者(34.1%)よりも約28ポイント高くなっている。

図Ⅱ 5-2-1 茨城県に誇りを持たない理由
(地域別, 性別, 年齢別, 職業別, ライフステージ別, 出身県別, 居住年数別)



(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。